

## 誰もが多様な生き方を選択できる都市を目指して 「第6次横浜市男女共同参画行動計画（素案）」に対する 市民の皆様からの御意見を募集します

横浜市では、横浜市男女共同参画審議会の答申を踏まえ、誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向けて、「第6次横浜市男女共同参画行動計画（素案）」をとりまとめました。

このたび、この素案に対して、市民の皆様からの御意見を募集します。皆様の御意見等を踏まえて、計画を策定します。

### ■第6次横浜市男女共同参画行動計画の概要

計画期間：令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5か年

位置  
付け

横浜市男女共同参画推進条例に基づく行動計画であり、「男女共同参画社会基本法」、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」及び令和6年4月に施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（女性支援新法）」に規定される市町村計画です。

政策  
の  
3  
つ  
の  
柱

#### 政策1 女性活躍の推進と働きやすい職場づくり

あらゆる場面において男女の格差がなく、家庭と仕事を両立でき、自分らしい選択ができる社会を目指します。

#### 政策2 安全・安心な暮らしの実現

性暴力やDVがなく、経済的、社会的に困難を抱えることのない、安心・安全な社会を目指します。

#### 政策3 誰もが生き生きと生涯活躍できる地域・社会づくり

固定的な性別役割分担意識やジェンダーバイアスが解消され、性差による不都合や生きづらさを感じることはない社会を目指します。

### ■市民意見募集の概要

※詳細は別添の素案（概要版）をご覧ください。

#### (1) 意見募集期間

令和7年12月22日(月)から令和8年1月23日(金)まで

#### (2) 素案の閲覧方法

横浜市ウェブサイトから御覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/danjo/keikaku/kodokeikaku/dai6jikeikaku.html>

素案冊子の閲覧、概要版リーフレット配布場所：各区役所広報相談係/市民情報センター/

政策経営局男女共同参画推進課/横浜市男女共同参画センター3館(青葉区、戸塚区、南区)

※概要版リーフレットの配布は令和8年1月6日(火)から開始します。

#### (3) 受付方法

横浜市電子申請・届出システム／郵送／メール／FAX

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目 50 番地の 10

横浜市政策経営局男女共同参画推進課

メール：[ss-danjoiken@city.yokohama.lg.jp](mailto:ss-danjoiken@city.yokohama.lg.jp) FAX:045-663-3431

お問合せ先

政策経営局男女共同参画推進課長 武井 友子 Tel 045-671-3691



**GREEN x EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷





3つの政策と主な取組

政策1 女性活躍の推進 と働きやすい 職場づくり	施策1 働きたい・働き続けたい女性の活躍推進	施策2 誰もが働きやすい職場づくりや社会環境づくり	施策3 市役所における女性活躍・男女共同参画と働き方改革
	女性の就労やキャリア形成の支援を通じて、働きたい・働き続けたい女性の活躍を推進します。 主な取組：女性の就労支援、女性管理職の育成や登用促進、女性起業家の支援	女性の活躍やワーク・ライフ・バランスを推進するため、誰もが働きやすく活躍できる職場づくりを推進します。 主な取組：多様で柔軟な働き方の推進、企業等の取組支援、仕事と育児・介護の両立に向けた環境づくり等	行政自らが率先して取り組む姿勢で、横浜市役所における女性活躍・男女共同参画と働き方改革を進めます。 主な取組：女性活躍と誰もが働きやすい職場づくりの推進、附属機関の女性参画比率の向上等

政策2 安全・安心な 暮らしの実現	施策4 DV防止とあらゆる暴力の根絶	施策5 困難を抱える女性への支援	施策6 地域防災における男女共同参画の推進	施策7 多様な性のあり方への支援と理解の促進
	DV被害者に対して、関係機関と連携して継続的に支援します。特に、若年層への啓発、予防教育や、相談につながりやすい環境づくりを進めます。性や性別にかかわるあらゆる暴力の防止に向けた広報・啓発、被害者等支援に取り組めます。 主な取組：DVの相談支援体制の構築、若年層におけるデートDV・性暴力防止、理解の促進等	複雑化・多様化・複合化する女性の課題に対して、関係機関が連携して伴走支援します。とりわけ若年女性は支援につながりにくい現状があることから、民間団体と協働して、状況やニーズに沿った切れ目のない支援を行います。 主な取組：困難な問題を抱える女性への支援、ひとり親家庭の女性への就労支援、外国人、障害者等への支援等	地域防災における女性リーダーを育成するとともに、地域での理解促進に取り組みます。災害時の男女のニーズの違いに配慮した、男女共同参画の視点からの地域防災を推進します。 主な取組：地域防災における男女共同参画の推進、消防団における女性活躍の推進	多様な性のあり方の理解促進に向け啓発を行います。性的少数者が安心して過ごせるよう、取組を進めます。 主な取組：多様な性に関する啓発の推進、性的少数者に対する相談・支援、パートナーシップ宣誓制度

政策3 誰もが生き生きと 生涯活躍できる 地域・社会づくり	施策8 ワーク・ライフ・バランスと家事・育児・介護の家庭内分担の推進	施策9 ライフステージに応じた健康支援	施策10 地域・教育における男女共同参画の推進
	固定的な性別役割分担意識を解消し、家庭内での家事分担の機会の提供や、家事の負担軽減に取り組めます。 主な取組：ワーク・ライフ・バランス及び家事・育児・介護の家庭内分担の推進等	ライフステージや性別に特有の健康課題に対して、必要なサポートや正しい知識が得られるよう支援します。 主な取組：安心して出産・子育てができる環境づくり、女性特有のがん対策、性に関する適切な知識の普及啓発等	誰もが性別にかかわらず生き生きと生涯活躍できる社会づくりに向けて、アンコンシャス・バイアスの解消等に取り組めます。こどもや若者が性別にかかわらず自分らしい生き方を選べるよう、教育の機会の充実を図ります。 主な取組：地域における男女共同参画の理解促進、生きづらさを抱える男性に対する取組、若い世代への啓発等

成果指標 男女共同参画社会の実現に向けて、社会の達成状況を測るための指標であり、行動計画全体に対して設定します			
成果指標	現状値		目標
管理職（課長級以上）に占める女性の割合	市内企業	18.8%（R5）	30%
	市役所	21.0%（R7）	
男性の育児休業・休暇取得率	市内企業	40.6%（R5）	85%
	市役所	80.0%（R6）	100%
男性と女性の家事・育児・介護の分担状況（平日・共働き世帯）	男女の活動時間比 2：1（R6）		現状より均衡に近づく
市民のDVの理解度※	精神的暴力	58.0%（R6）	各10ポイント増
	性的暴力	79.9%（R6）	
困難な問題を抱える女性を社会全体で支援できていると思う市民の割合	18.2%（R6）		10ポイント増

※「横浜市男女共同参画に関する市民意識調査」において、精神的暴力、性的暴力の事例を「暴力にあたると思う」と答えた市民の割合



計画の推進体制

- 市職員自身の理解促進に取り組み、あらゆる分野に男女共同参画の視点を取り入れ、施策を推進します。
- 男女共同参画センターでは、これまで男女共同参画センターの取組に接する機会がなかった市民にも届くよう、アウトリーチや地域の団体・企業等との協働により、施策や事業を展開します。
- 市民、企業やNPO等の多様な主体が連携し合い、さまざまな手法でアプローチすることにより、社会的な理解を促進していきます。

ご意見をお寄せいただく方法は裏面をご覧ください

✂ キリトリ線

●「第6次横浜市男女共同参画行動計画」素案をご覧ください。ただしご意見のある項目について✓を入れてください。（複数選択可）

☐ 計画全体について

☐ 各施策について

☐ 施策1 ☐ 施策2 ☐ 施策3 ☐ 施策4 ☐ 施策5

☐ 施策6 ☐ 施策7 ☐ 施策8 ☐ 施策9 ☐ 施策10

☐ その他

●選択した項目について、具体的なご意見をご記入ください。

✂ キリトリ線